

お知らせ



□パナソニック住まいづくり無料相談会
仙台市青葉区本町2丁目4番6号
仙台北町三井ビルディング1階
9/10(土) 10:00～17:00 入場無料
(受付 16:00まで)

詳しくはこちらをご覧ください。

イベント開催地、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成
株式会社 加藤一成建築設計事務所
仙台オフィス
TEL: 022-739-8931 FAX: 022-739-8932
秋田オフィス
TEL: 018-831-4315 FAX: 018-831-4316
HP: <http://www.issei-design.com/>
Blog: <http://www.issei-design.com/blog/>
Mail: info@issei-design.com



DKからリビング方向を見る。既存壁付のキッチンは対面式とし、東側に新たな開口部を設け朝日を取り込む。



スタイルを変えたDK。背面には収納やパントリーをレイアウト。熱環境と安全性を向上させる階段室。

青森県田子町は、南は岩手県、西は秋田県との境に位置する青森県最南の町です。省エネ基準では青森県内で最も寒冷な地域に指定され、北海道の中央部と同等です。推定築25～30年程度の既存住宅は300㎡以上の床面積を有しますが、今回の計画では玄関ホール・階段・LDKを中心に約110㎡をリノベーションすることにしました。寒さの大変厳しい地域にしては開放的過ぎる吹抜けを塞ぎ、玄関に向かって一直線に下る安全とは言えない直階段を安全な折り返し階段に改修します。階段は階段室として囲うことにより、2階の冷気が滝のように1階に流れ込む事を緩和し、だだっ広いイメージのある玄関ホールに、安全かつ新しいデザインを提案します。既存LDKは、壁付のキッチン+食堂と和室の居間が隣り合わせになっていますが、建具で仕切られ、十分広い面積でありながらそれを生かし切れていない印象です。改修後はキッチンを対面式に配置し、緩やかに仕切られつつも一体に使用可能で、デザインも一新し統一感あるものにしたと考えています。住宅北側に配置された水回りは大きなゾーニングはそのまま、間仕切り的小変更や住宅設備機器を全て更新します。また、改修に関わる範囲の外部開口部は、既存のシングルタイプから高断熱タイプに変更します。



改修後のLDK。既存は和室の居間として独立していたが、改修後は奥のDKと手前のLが一体となり、シンプルでモダンなデザインとする。



リビング。既存の木の格天井を保存し、周囲の間接照明で演出する。造作家具等も提案し、大断面の柱を生かして新しいデザインを取り込む。

■特集 "青森県田子町 S-house Renovation"

>> 秋田の夏

皆様こんにちは。小野です！お盆も過ぎ、猛暑も少しおさまったのではないかと思います。まだまだ暑い日続きそうですね（^^）私は夏が大好きなので、秋田の短い夏をここぞとばかりに満喫しています。竿灯まつりは、4日間開催の内、3日間遊びに行きました。最終日が休日ということもあり、すごい人でした。花火大会や海やBBQと楽しいイベントもいっぱいあったのですが、最終的にお盆に風邪をこじらせてしまい寝ているはめになりましたが（；ω；）笑。皆様も風邪や熱中症には十分注意して下さいね。



>> いよいよ！

こんにちは、山崎です。お盆も過ぎて少し暑さがゆるんできたかなと感じる今日この頃です。8月27日には、いよいよ私の地元の大曲で「大曲全国花火競技大会」が開かれようとしています。川沿いの会場では観客席が着々と出来上がり、地元のお祭りムードも少しずつ高まってきています。花火大会の1週間前には会場近くの商店街でコンサートなどの催し物も開かれます。商店街のお店もその日に向けて出店を出したり大忙しです。花火も大会1週間くらい前から日替わりで打ち上げられたり、職人さんと観光客も全国各地から集まってきて、大曲は人であふれる時期を迎えています。着々と準備が進む中、当日は天候が良くなってくれることを祈るばかりです。観客席のチケットも手に入りにくくなっているのか、インターネットで高値で売り買いされたり、数年前までは予想もしなかった盛況ぶりです。来年は「国際花火シンポジウム」が開かれ、世界の花火が大曲で見られるそうで、ますます大曲は「花火の町」に磨きをかけています。



>> 編集後記

みなさん、こんにちは。あつと言う間に7月が過ぎ、夏祭りが終わわり、オリンピックが始まり、そしてあつと言う間に盆休みも終わってしまいましたね。さて、皆様も連日リオデジャネイロ・オリンピックをTV観戦している事と思います。4年に1度のオリンピック。前回のロンドンオリンピックを話題にしたのは、2012年8月9日のVOL.65でした。早いものであれから4年、子供たちは成長し、私は相応に年をとりました（笑）南半球ですので北半球が真夏のこの時期の開催は珍しいですね。そのせいで高校野球はやや気の毒な事になってますが・・・日本勢、かなり活躍しているのではないのでしょうか。お家芸である体操も復活しましたし、今や水泳も強国の1つになりました。体格が劣っても、それを補う技術があるからです。卓球はスピードや技術に驚き、感動もしました。そしてテニスやパドミントンも。逆境を跳ね返す姿は、本当に感動的です。これから女子レスリングなども始まりますね。どんな活躍を見せてくれるか楽しみですが、オリンピックもあと数日。終わってしまえば寂しさもありますが、2020年TOKYOに向けてのカウントダウンが始まります。最後までお読みいただきましてありがとうございました。それでは次回もどうぞお楽しみに。



7月下旬、建築学会の用事で鹿角市コモッセへ。設計者と共に施設見学をさせていただきました。平日にもかかわらず、多くの市民が訪れ、大変有効に活用されているようでした。建築的にも多くの見所があり、設計者の苦勞が伝わりました。